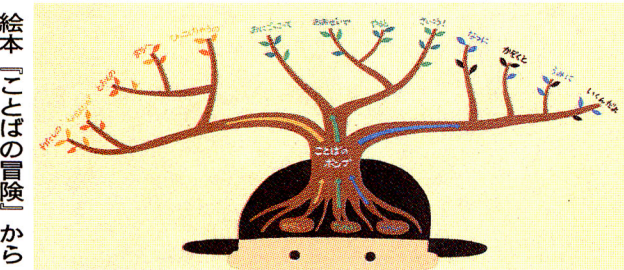


ことばのう 言葉と脳のかかわりを研究 けんきゅう さかい いくによし 酒井邦嘉さん



「子どもの脳には奇跡のような力がある」と話す 酒井邦嘉さん＝東京都目黒区の東京大学で

さかい・くによし 1964年、東京生まれ。東京大学大学院博士課程修了。現在、同大学院総合文化研究科准教授。著書に、『言語の脳科学―脳はどのようにことばを生みだすか』（中公新書、第56回毎日出版文化賞受賞）、『脳の言語地図』（明治書院）などがある。



絵本『ことばの冒険』から

「子どもたちには「こま」でやればいい」というのが教育だと思っただけで、たまたま四一五……とかきりなく続いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけでは、算数の本当のおもしろさは味わえません。「無理数」といって、小数点以下が無限に続く数字があること、次にくる数字は〇、九しかないのに決して規則

「木」を伸ばすため、周囲の大人も、子どもの力を信じて、その子に合った可能性をできるかぎり与えることが大切です。

「子どもたちにとっ て、あるべき教育の姿は？ 子どもたちには「こま」でやればいい」というのが教育だと思っただけで、たまたま四一五……とかきりなく続いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけでは、算数の本当のおもしろさは味わえません。「無理数」といって、小数点以下が無限に続く数字があること、次にくる数字は〇、九しかないのに決して規則

# 子どもは奇跡のよう な力が



人間が使う言葉のしくみと脳のかかわりを研究している東京大学准教授の酒井邦嘉さんが先月子ども向けに脳科学を紹介する絵本「ことばの冒険」(明治書院)を出版しました。子どもの脳には、大人からみて奇跡のような力があると酒井さんは話します。子どもと大人の脳の違い、子どもの力を伸ばすためにどんな教育が必要かなどを聞きました。

## 大人よりずっと多い吸収力

「子ども向けに絵本をかこうと思ったきっかけは？」  
子どもの「知りたい」という意欲はすごいなあと感じたことがきっかけです。小学生に向けて脳の話をして、これは一番大切な質問

「子どもと大人で、脳にちがいはあるのですか？」  
脳が示す吸収力では、大きなちがいがいることは明らかです。たとえば、子どものときに接した外国語は自然と覚えることができますよね。言葉の学校に通うわけでも、テストを受けるわけでもなく、大人になってから外国語を習得するのは、た

「子どもたちにとっ て、あるべき教育の姿は？ 子どもたちには「こま」でやればいい」というのが教育だと思っただけで、たまたま四一五……とかきりなく続いていくものを、三もしくは三・一四と理解するだけでは、算数の本当のおもしろさは味わえません。「無理数」といって、小数点以下が無限に続く数字があること、次にくる数字は〇、九しかないのに決して規則

## 本を友だちに世界を広げて

「子どもと大人で、脳にちがいはあるのですか？」  
脳が示す吸収力では、大きなちがいがいることは明らかです。たとえば、子どものときに接した外国語は自然と覚えることができますよね。言葉の学校に通うわけでも、テストを受けるわけでもなく、大人になってから外国語を習得するのは、た